

標 題 : Dietary Intake, Adherence to Mediterranean Diet and Lifestyle-Related Factors in People with Schizophrenia.
統合失調症の人々における食事摂取、地中海食の順守および生活様式関連の要因

著 者 : R. Costa, et al. (ポルトガル ポルト大学 スポーツ学部
運動・健康・余暇の研究センター(CIAFEL))

掲 載 誌 : Issues Ment Health Nurs. 2019 Oct; 40(10): 851-860

要 旨 :

この研究の目的は、ポルトガル人で統合失調症の入院患者と外来患者の両方で体の弱さの重要な潜在的要因として食事摂取を調べて、食事の質と他の生活様式の要因との関連を理解することであった。

この横断的研究の参加者は、半定量的な食品頻度アンケートを完了した。

食事の質を、地中海食の順守によって判定した。

さらに参加者は、「国際標準化身体活動質問票-短文式」および「ピッツバーグ睡眠質問票」を完了した。

喫煙を、一連の一般的な質問から評価した。

合計 100 人の (50%が入院患者で 28%が女性) 統合失調症の患者を最終解析に収録した。

患者はカフェインの高い摂取を報告したが、「欧州食品安全機関」の推奨と比較したときに、繊維および葉酸の摂取の不足が明らかであった。

入院患者と外来患者の両方が、低から中程度の食事の質を報告した。

喫煙者は、非喫煙者と比較したときに低い食事の質を報告した ($p<0.001$)。

統合失調症と共に生きている人々の身体の健康を改善するために、食事摂取および他の生活様式の要素との関連を、介入で考慮すべきである。
